

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム倉敷北
日付	平成16年9月29日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	老人保健施設での相談援助業務歴 5年 在宅介護支援センター等での相談援助歴 11年
自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）	
評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）	
事業者のコメントを見る （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

外部評価の結果

講評
全体を通して（特に良いと思われる点など）
<p>グループホーム全体として統一された理念、考えに基づいてケアを実践しようとする意欲が感じられた。管理者、ユニットリーダー共に確固たる信念を持たれているように感じられた。マニュアル等の整備もしっかりとされており、現場職員への徹底も図られているように思われた。グループホームは、倉敷駅から徒歩圏内であり、市街地に立地している。その地理的なメリットを最大限に生かし、日常的に徒歩での買い物や散歩等により、入居者の生活に変化ある状況を作り出している。また、カンファレンスへ家族の参加を促すなど先進的な取り組みも見られ好ましいと感じられた。</p> <p>職員の表情は明るく、そのことが入居者へも良い影響を醸し出していると思われた。また戸外で庭を利用して菜園を作ったり、洗濯物を干したりの日常生活も行われており、好ましいと感じられた。</p> <p>さらには、併設されているデイサービスセンターとの連携等をうまく活用して、入居者の生活の幅を広げるような努力も見られた。</p> <p>全体的にユニットの玄関等をはじめとして、鍵による施錠をしないで、入居者の自由を最大限保障している点は評価されると思われた。</p>
特に改善の余地があると思われる点
<ul style="list-style-type: none"> 入居者の所在の把握のためと考えられるが、1名の入居者の上履きに小さな鈴が付けられている点は、入居者の人権尊重の点から考えて別の方法の検討が必要ではないでしょうか。 より家庭的な雰囲気を出すための工夫を更に進めて頂くことが必要ではないでしょうか。 入居者の食事摂取に関して、更に個別の対応が可能になるように食事の形状等に配慮が望まれるのではないのでしょうか。 職員が入居者と共に楽しみながら、食事がとれるような工夫が必要ではないでしょうか。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	<p>「ケアの基本は個別のケアである」という基本的考え方を堅持しているように感じられた。また入居者の自己実現を図ることについての理解も認められた。管理者並びにユニットリーダーの言葉を借りるならば「その人らしく普通の家庭のように」、「個人の尊厳を大切に」等が語られた。また医療と介護の棲み分けをし、運営していくべきだとの話もあつた。またターミナルケアについては原則病院で看取る方が良いだろうと考えているとのことだった。</p> <p>グループホームとしては、2ユニット同じ2階で運営しており、互いのユニットが様々な点で助け合えるように工夫されていた。また、1階部分ではデイサービスセンターの運営も行っており、必要に応じて連携して資源の一つとして利用していた。</p> <p>倉敷北病院の提携会社として、会社全体として病院のサポートも受けられるようになっており、そのことを背景にグループホームは「介護」に特化した事業体としての運営を念頭に置いているとの事であった。</p> <p>更に職員への理念や介護についての徹底のためマニュアルを整備しており、それを常時職員が携行し、いつでも確認できる体制を敷いていた。暖かい関わりを大切にするように管理者、職員ともが関わりを持っていた。</p> <p>また自主評価では要改善項目が全く無く、自らのケアへの自信がうかがわれた。</p>		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	職員は一人ひとりのペースを尊重し、入居者にあわせたケアを実践しようとしており、体操やレクリエーション等の一応のプログラムはあるものの、個性を重視しようとする姿勢がうかがわれた。		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		

ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<p>職員が訪室する際は、必ずノックするようにしている。また、入浴も1人ずつ入浴できるように配慮している。</p> <p>職員も出来る限り、個人のプライバシーを配慮するように心がけているとのことであった。</p> <p>入居者の希望を可能な限り聞き出すように努力し、ケアを進めるように考えている。</p>		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
	<p>随時のカンファレンスやミーティングを通して、課題を克服するように考えて運営している。病状等に関しては主治医を中心に、必要に応じて隣接の病院の支援も受けながら対応している。</p> <p>また、各種の研修にも積極的に参加できるような体制をとっている。</p>		